

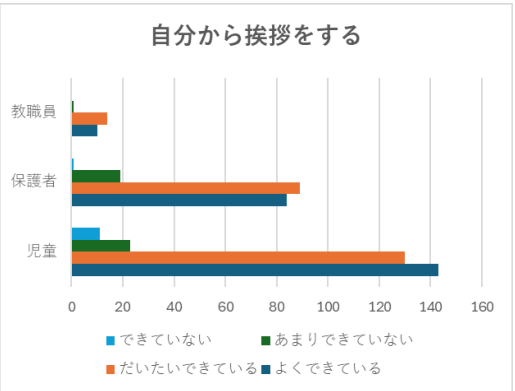
R 8 第 1 回 桃山教育アンケート学校評価(児童・保護者・教職員)の結果

令和 8 年度前期「桃山教育アンケート」にご協力いただきありがとうございました。結果をご報告いたします。
昨年度同様、児童・保護者・教職員が自分たちのすべきことに目が向けられるようなアンケートとし、それぞれが当事者意識をもつためのアンケート項目にさせていただいております。
「桃山教育アンケート」結果の分析によって、学校・家庭・地域がふり返りを行い、子どもたちのためにできることを考えてまいりたいと存じます。ご協力ありがとうございました。本校の教育がよりよいものになりますよう、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

	No.	質問事項	児童 (実態の程度)	保護者 (働きかけの程度)	教職員 (実態の程度)
やさしい子	1	学校に楽しく通っていますか。(児童) 子どもは楽しく学校に通っているか。(保護者) 児童に安心して活動できるよう教育活動を進めている。(教職員)	9 2 %	9 1 %	9 2 %
	2	自分から挨拶をしていますか。(児童) 家庭で挨拶するように心がけている。(保護者) 進んで挨拶するような指導や褒める評価をしている。(教職員)	8 9 %	9 0 %	9 6 %
	3	誰とでも仲良く協力していますか。(児童) 子どもが、誰とでも仲良く協力するよう働きかけている。(保護者) 「正しい言葉遣い」1000さんで呼ぶ、等を指導し、互いを大切にできるように指導している。(教職員)	9 1 %	9 5 %	8 8 %
	4	約束きまりを守っていますか。(児童) 子どもに、学校の約束やきまりを守るよう働きかけている。(保護者) 児童は学校のきまりや約束を守ることが行動化され、児童に定着するように指導している。(教職員)	9 1 %	9 7 %	9 6 %
	5	当番活動を最後までやり遂げていますか。(児童) 子どもに家庭での役割を決めて、やり遂げるよう働きかけている。(保護者) 児童は当番活動を最後までやり遂げている。(教職員)	9 6 %	6 6 %	1 0 0 %
かしこい子	6	進んで本を読んでいますか。(児童) 子どもが読書しやすい環境づくりを心がけている。(保護者) 児童は自ら進んで読書活動をするよう働きかけている。(教職員)	8 2 %	6 2 %	9 2 %
	7	いろいろな先生との授業は楽しいですか。(児童) 子どもは、教科担任の先生との関わりの中で、学習への意欲を高めている。(保護者) 担任や他の教科担任と連携しながら、児童の学びを支える体制づくりに取り組んでいる。(教職員)	9 1 %	8 8 %	9 2 %
	8	自分の気持ちや考えをみんなに伝えることができますか。(児童) 子どもに、授業中に進んで自分の思いを伝えるよう励ましている。(保護者) 授業中に、児童が自分の思いを伝える機会をなるべく多く設けている。(教職員)	7 5 %	7 0 %	9 2 %
	9	学校の授業はよく分かりますか。(児童) 子どもに、学習の基礎基本が身に付くよう働きかけている。(保護者) 児童が授業内容を理解できるよう、指導方法や教材の工夫をしている。(教職員)	9 5 %	8 8 %	9 6 %
	10	おうちで進んで、宿題や勉強をしていますか。(児童) 子どもに、宿題や家庭学習の習慣が身に付くよう働きかけている。(保護者) 授業と家庭学習を連動させた宿題や家庭学習の充実に取り組んでいる。(教職員)	8 7 %	8 9 %	9 2 %
たくましい子	11	早起きをしていますか。(児童) 子どもに、早寝早起きの習慣が付くよう働きかけている。(保護者) 児童に基本的な生活リズムが身に付くように指導している。(教職員)	7 4 %	8 4 %	9 2 %
	12	好き嫌いをせず食べていますか。(児童) 子どもに、好き嫌いなく食べるよう働きかけている。(保護者) 児童が食べ物に関心をもち、給食を好き嫌いなく食べるよう指導している。(教職員)	7 8 %	8 4 %	9 2 %
	13	自分のいいところを知っていますか。(児童) 子どものよさを認め、褒めるようにしている。(保護者) 児童の良さを認め、褒めるようにしている。(教職員)	7 1 %	8 9 %	9 2 %
	14	困ったことがあれば、先生に相談していますか。(児童) 子どもに困ったときは先生に相談するとうに言っている。(保護者)	6 8 %	9 5 %	9 2 %
	15	児童に寄り添い、話を聞くことができる。(教職員) 安全に気を付けてすごしていますか。(児童) 子どもに、安全を守る意識を高められるよう働きかけている。(保護者) 教科や生活指導の場面で、児童が自ら安全に気を付けて行動できるよう促している。(教職員)	9 6 %	9 6 %	9 6 %
	16	学校はいじめのない人権を尊重した教育を進めている。(保護者) いじめのない人権を尊重した教育の実現に向けて取り組んでいる。(教職員)	—	9 7 %	9 6 %
	17	学校からの発信にはきちんと目を通している。(保護者) HP、学校だより、学年だよりなどで、学校の様子を分かりやすく伝えている。(教職員)	—	9 2 %	7 2 %
	18	子どもは、学校であつた出来事や自分の思いを家庭でよく話している。(保護者) 家庭に対し、子どもと会話する時間をもつことの大切さについて働きかけている。(教職員)	—	8 4 %	6 8 %
	19	子どもと会話する時間や家庭で過ごす時間を大切にしている。(保護者) 児童と関わる時間やリフレッシュする時間を大切にしている。(教職員)	—	9 3 %	8 4 %

※実践の程度は【よくできている】【だいたいできている】を合わせた数値

主な成果と課題

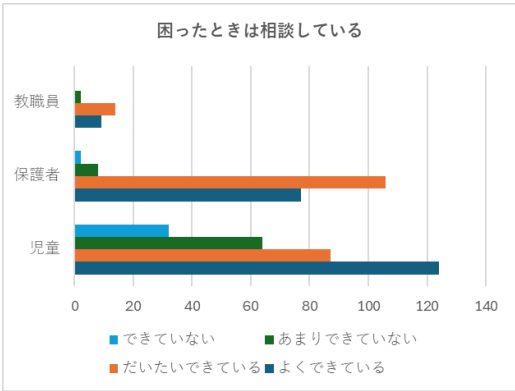
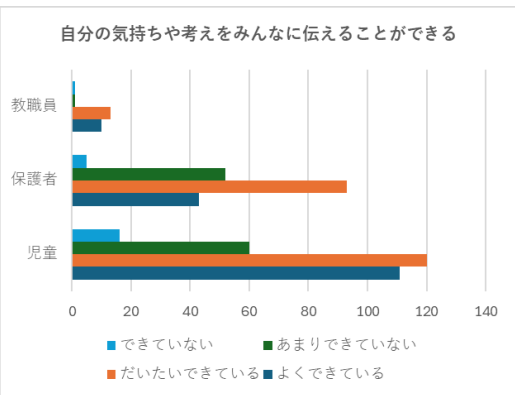


〈やさしい子〉NO.1～5

「2. 自分から挨拶をしている」については、肯定的評価が児童 89%、保護者 90%、教職員 96%と高い結果となった。児童・保護者・教職員の評価が概ね一致しており、学校・家庭・地域において挨拶をする習慣が定着していることがうかがえる。一方で、約 1 割の児童は自分から挨拶することに課題を感じているため、今後も挨拶運動や日常的な声かけを継続するとともに、安心して他者と関われる学級づくりを進め、自発的に挨拶できる児童の育成に努めていく。挨拶に課題を感じている児童に対しては、教職員との信頼関係を基盤とし、日常的な声かけや認め励ます指導を充実させる。また、安心して友達と関わることのできる学級づくりを進めるとともに、会釈や小さな声での挨拶など段階的な目標を設定し、成功体験を積み重ねられるよう支援する。さらに、家庭と連携しながら、児童一人一人が自信をもって自ら挨拶できる態度の育成に努めていく。

〈かしこい子〉NO.6～10

「8. 自分の気持ちや考えをみんなに伝えることができる」について、肯定的評価は児童 75%、保護者 70%、教職員 92%であった。教職員は比較的高い評価となった一方、児童、保護者の評価はやや低く、家庭での自己表現やコミュニケーションに課題を感じている様子が見える。今後は、学校における対話的な学習や話し合い活動の充実を図るとともに、一人一人が安心して自分の思いや考えを表現できる学級づくりを推進していきたい。家庭との連携では、学校での話し合い活動や発表場面を積極的に発信し、児童の成長の様子を家庭と共有していく。また、家庭で子どもの思いや考えを聞く機会を増やせるよう働きかけるとともに、個人懇談や教育相談を通して学校と家庭が連携し、児童の表現力やコミュニケーション力の向上を支援していきたい。



〈自由記述より(抜粋)〉

- 「体調不良等の際のお迎えだけでも、車で来校ができると助かります。」というご意見がありました。貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。体調不良等による急なお迎えの際には、ご負担をおかけしていることと思います。一方で、本校では児童の安全確保や校内での事故防止、近隣への配慮の観点から、原則として車の乗り入れをご遠慮いただいております。しかしながら、体調不良やけが等の緊急時につきましては、状況に応じて個別に対応しておりますので、お迎えの際には学校へご相談ください。
- 「5 分休憩でトイレや授業準備をすることが間に合わず困っています。」というご意見がありました。貴重なご意見をありがとうございます。5 分間の休み時間の中で、トイレや授業準備に慌ただしさを感じる児童がいることについて、学校としても課題の一つと捉えています。今後も、授業終了時の声かけや準備の習慣化、移動時間への配慮などを通して、児童が余裕をもって次の学習に向かえるよう支援してまいります。また、児童の実態に応じて改善できる点がないか検討を続けてまいります。
- アンケートのご協力ありがとうございました。第 2 回桃山教育アンケートもどうぞよろしくお願いいたします。